

合唱等で利用する場合のガイドライン（令和2年10月1日更新）

○合唱、吹奏楽（管楽器）など一方向（客席）への飛沫感染対策

- 合唱について、舞台上でのソーシャルディスタンス（左右最低1m以上最大2m、前後2mの間隔を空けてください。）
- 管楽器（管内に溜まる水分の処理はタオル持参で床又は平台へは落とさないで下さい。）
- 順番待ちの客席通路に待機するクラスのマスキの着用とソーシャルディスタンスを取ること。
- 大声を出さない。

○控え室、リハーサル室での密集、密接の接触感染及び飛沫感染対策

- マスキの着用、大声を出さない。ソーシャルディスタンスを取ること。
- 石鹸による手洗い、手指消毒。
- 定期的な換気。※必要なスタッフを配置して下さい。

○舞台、音響、照明設備を使用する際の接触感染対策

- 舞台スタッフは、マスキの着用、石鹸による手洗い、手指消毒。
- 手袋の着用。
- インカム使用は、限定の人に限ります。
- 定期的な換気。※必要なスタッフを配置して下さい。
- 音響スタッフは、マスキの着用、石鹸による手洗い、手指消毒。
- 手袋の着用。※音響機材に触れる人は最少人数でお願いします。※マイクなど使い回し禁止。
- インカム使用は、限定の人に限ります。
- 照明スタッフは、マスキの着用、石鹸による手洗い、手指消毒。
- 手袋の着用。※照明機材など触れる人は最少人数でお願いします。
- インカム使用は、限定の人に限ります。

○客 席

- 飛沫感染対策として、舞台から最前列まで5m間隔を取って下さい。
- マスキの着用、座席の間隔の確保。大声を出さない。
- 定期的な換気。※必要なスタッフを配置して下さい。

○受 付

- 検温と入場前の消毒（ご用意して下さい）の実施。
- 入場者名簿を作成し、主催者にて管理して下さい。
- 定期的な換気。※必要なスタッフを配置して下さい。